

ナバリスト 27

森 祐生 さん

英心高等学校桔梗が丘校 教諭

もり ゆうき ●滋賀県出身。英心高校1年C組担任。生徒が、地域ボランティアなどに参加できる環境づくりに積極的に取り組む。学生時代はサッカーに明け暮れ、高校では全国大会準優勝の経験も。大学卒業後、総合建設業でのサラリーマン時代を経て、全寮制・通信高校の教員や、英語学童の管理運営などを経験し、現職。



みんながつながって
成長できるって
サイコー！



地域のイベントに、楽しみながら、積極的に関わる英心高校の生徒たち



地域が抱える課題を高校生視点で考える探究学習。生徒と一体となって取り組む



エースストライカーとして活躍していた学生時代

つながって、みんながハッピーに！

学生のころは、サッカーに打ち込んでいました。ただ、スポーツ以外の世界も知りたいと思い、「生徒と一緒に成長できる教員になりたい」と考えるように。まずは社会を知ろうと総合建設業者に就職。地下鉄工事に関わる事務などを担当し、さまざまな業種、立場の人と一緒に仕事をすることで、人とつながりながら物事を進める大切さを学びました。

その後、10年ほどを経て教員の道へ。全寮制高校で不登校の子どもたちへの支援を学んだり、英語学童で外国人スタッフと働いたり。サラリーマン時代も含めた多様な経験を生かしながら、今、生徒たちと向き合っています。何より、自分自身が学校を楽しんでいるんですね。そんな姿は生徒にも伝わるでしょうし、私自身もまだまだ成長できると感じています。

ただ、学校だけでできることには限りがありますので、生徒を地域みんなで育んでもらえる環境づくりを大切にしたいと考えています。地域のイベント運営などに生徒たちが関わると、「ありがとう」と声をかけてもらうことも多い。大人に認められる経験は、子どもたちの自己肯定感や、地域をよりよくしたいという主体性を育みます。また、地域で活躍する姿は、保護者の安心にもつながります。

そんな生徒たちを温かく受け入れてくれる風土が、名張にはあります。その温かさに応えたいという思いが、学校と地域との距離をさらに縮めているんですね。生徒も保護者も地域も、みんなつながり、ハッピーになれる関係を築いていけると最高です！

編集後記

私も1年間、交換日記に参加。日記仲間として、共感しながらの取材に。振り返れば取材で共感し合えた思いを、これまでも大切に記事にしてみました。その人の思いを広く届けたいと願いながら（たか）

「しっかり腕を振って！一顔はカメラを見てねー」と私も一緒に走りながら、学生のみんなに何往復もしてもらった表紙の撮影。部活の先生のような気分を味わわせてもらいました（くま）

「生ごみを手で絞るのはちょっと…」というそのあなた！P8で紹介の裏技を使えば簡単に水切りできちゃいます。みんなであれば大きな減量に。動画もぜひご覧ください（はな）

今月号から編集に携わります「おふじ」です。分からないことばかりですが、大好きな地元名張市の魅力を、いっぱい届けられるように頑張りたいです。小さなことからコツコツと（おふじ）



名張のひと・活動

